

科目名 (英)	社会はりきゅう学Ⅱ Social Acupuncture and MoxibustionⅡ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	笹尾 可那
学科・コース	鍼灸科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
<p>社会はりきゅう学では3年間の学生生活やはり師・きゅう師の仕事の理解、自身の目指す「はり師・きゅう師」像、そして将来ビジョンについて主体的に設計し、判断する能力を養う科目である。</p> <p>社会はりきゅう学Ⅱでは多様化する社会的ニーズについて学習する。</p> <p><b>笹尾</b> 実務実績 鍼灸院での勤務、診察から治療までの業務に従事 医療系専門学校にて教鞭をとる。</p> <p>資 格 はり師、きゅう師</p>							
【到達目標】							
<p>はり師きゅう師の業務形態を理解することができる。</p> <p>目指すはり師・きゅう師像をイメージしながら、キャリアプランを作成することができる。</p> <p>目指すはり師・きゅう師像に必要な知識の修得に対する行動を実践することができる。(目標に対する行動計画を立て、定期的 に振り返りながら行動を修正することができる。)</p>							

授業計画・内容	
1回目	個人が働くことを通じた自己実現や社会への貢献などの価値について理解することができる。就職活動の進め方、就職活動の流れについて理解することができる。
2回目	自分の現在の価値観、興味、欲求などを認識し、自分の将来進みたい方向性を見つける足掛かりとすることができる。
3回目	鍼灸師が社会で求められる基礎力(3つの力、12の能力)を理解し、説明できる。
4回目	鍼灸師が社会でもとめられる基礎力を在学中どのように身に付けられるかを考え、行動計画を立てられる。
5回目	スポーツ領域における鍼灸師の関わり方について学び、必要なスキルについて理解することができる。
6回目	人生の目標を立て行動していくためのプランニングをすることができる。
7回目	人生の中で想定される大きなイベントを考え人生設計を行うことができる。
8回目	地域包括ケアにおける鍼灸師の位置づけと医療福祉における鍼灸師の関わり方について学び、必要なスキルについて理解することができる。
9回目	卒業生就活レポート 就職情報の収集(方法、注意点) 卒業生の就職活動状況を参考に就職情報の集め方などを理解し、就職活動にむけての具体的な行動ができる。
10回目	就職活動のマナーや敬語を理解し、実践することができる。
11回目	自己PR・エントリーシートの書き方を理解し、作成することができる。
12回目	美容分野と鍼灸(鍼灸師に必要な接遇スキル)
13回目	美容鍼灸領域における鍼灸師の関わり方について学び、必要なスキルについて理解することができる。
14回目	就職活動報告(発表)これまで授業の中で学んだ就職活動のスキルを実践し、その成果をプレゼンすることができる。
15回目	就職活動報告(発表)これまで授業の中で学んだ就職活動のスキルを実践し、その成果をプレゼンすることができる。
準備学習 時間 外学習	各授業で扱うテーマについてワークシートを作成します。 作成したワークシートは後の授業での振り返りや目標の再設定・行動計画を作成する際にも用います。 外部での勉強会(セミナー)や学会にも積極的に参加しましょう。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には授業内の課題提出などが含まれる。
受講生 へのメッ セージ	まずはゴール設定(将来の自分がなりたいはり師・きゅう師像)を明確にするために必要な情報を様々な観点からしっかり取り入れることが大切です。 自身の見識を広げるためにも外部の勉強会(セミナー)や学会・研修会への参加を積極的に行いましょう。 また、授業では現場でご活躍されている先生方の講話や様々なワークを通して自分の「なりたいはり師・きゅう師像」を見つけるヒントを見つけていきます。またそこに近付くためのセルフマネジメントについても学んでいきますが、学んだことを繰り返し実践し、習慣として身につけられるよう、授業だけでなく日々の生活の中にしっかりと学んだことを取り入れていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	